

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
松本衣デザイン専門 専門学校	昭和51年12月24日	太田 正子	〒390-0811 長野県松本市中央2-1-12 (電話) 0263-32-4057			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
公益財団法人青葉	昭和30年1月8日	窪田 正子	〒390-0811 長野県松本市中央2-1-12 (電話) 02632-32-4057			
目 的	社会の成熟度に伴いアパレル製品も日々進歩し多様化している。その製品を市場に流通させるためには、マーケティング・商品知識・販売知識等より高度な知識や技術が求められる。それに対応できる人材育成をすることを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾・ 家政	服飾・家政 専門課程	ファッション・ ビジネス科 (昼間部)	2年(昼)	1,908時間 (①+②+③) ①一般教養科目 268時間 ②必修専門科目 1,472時間 ③選択専門科目 168時間	平成7年文部科 学大臣告示第7 号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	395時間	727時間	0単位時間	828時間	266時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	12人	6人	5人	11人		
学期制度	■1学期：4月1日～7月31日 ■2学期：8月1日～11月30日 ■3学期：12月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 学則—第6章第18条に記載	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月4日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～3月31日			卒業・進級条件	学則—第6章第19条、20条に記載	

生徒指導	■クラス担任制（有・無） ■長期欠席者への指導等の対応 校長、又は教務担当者が本人へ連絡、話を聞き、学校としての指導をする ⇒保護者へ連絡をとり、考えを聞き、学校としての意見を述べる。三者の合意、納得する点をさぐる。	課外活動	■課外活動の種類 ユニバーサルデザイン・プロジェクト お写メくらぶ ■サークル活動（有・無） バドミントンクラブ、編物クラブ
就職等の状況	■主な就職先、業界等 アパレル（株式会社アンビデックス、株式会社ラ・シェネガ・カミヤマ等） ■就職率^{※1} 100 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 86 %	主な資格・検定	ファッションビジネス能力検定 ファッション色彩能力検定 ファッション販売能力検定 商品装飾展示検定
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成25年 4月 1日在学者 11名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年 3月 31日在学者 11名（平成26年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・病気を抱えての通学が可能であるように、休憩場所を用意する。 ・欠席等による授業の遅れに対しては、個別指導をする。可能な限りの個別対応をする。 ・非常勤講師にまで情報を共有し、学生個人への理解を徹底する。 		
ホームページ	URL: http://i-design.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

アパレル企業との連携により、最新の専門知識や技術の習得を目指す。また、社会の需要に即した実践的職業教育のための教育課程の編成を行うことを目的とし、卒業後は、アパレル業界において即戦力となる職業人の育成を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年8月31日現在

名前	所属
大石 幹也	松本市政策部 部長
福田 典子	国立大学法人 信州大学教育学部
佐藤 博康	学校法人松商学園 松本大学総合経営学部
大宮 小依	株式会社田立屋 取締役 メイクアップアーティスト
小池 真樹	banal chic bizarre パタンナー
太田 正子	公益財団法人青葉 松本衣デザイン専門学校 校長
荒井 利江	公益財団法人青葉 松本衣デザイン専門学校 教務部長
オオタ 加代	公益財団法人青葉 松本衣デザイン専門学校 教務主任

(開催日時)

第1回 平成25年12月4日 14:00~15:30

第2回 平成26年2月12日 10:30~12:00

第3回 平成26年7月30日 13:30~15:00

第4回 平成27年1月末に開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

学生が企業の中で社会人と同様に活動することで、企業や業界の需要を認識し、専門職種についてまなぶことを目的とする。お客様の反応を直接感じることができるようにし、成果の確認や反省などのまとめを、企業担当者が担当する。

科目名	科目概要	連携企業等
企業研修	販売職志望の学生が、業界並びに職種を理解するために「研修生」として現場で実習する。1年生の9~11月に「就職オリエンテーション」を受講する⇒企業との打合せ⇒企業より「受入証」(場所、期間、職種、担当者を明記)を学校へ提出いただく⇒研修⇒企業より「修了並びに報告書(とくに学生本人並びに学校への要望など)」をいただく⇒教務・講師会にて報告⇒教育課程編成委員会へ報告⇒反省・検討など次年度へ活かす	合同会社イ・デザイン クラブ
ディスプレイ実習	販売職志望の学生が、以下を学ぶために実施する。 ・商品知識・品揃え・メーカー並びにブランド・価格・ターゲット設定・店舗経営・立地他	株式会社ラ・シャネガ カミヤマ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「教員等の研修における諸規定」にしたがい、教務会並びに講師会における学期ごとの反省・計画をふまえ連携する企業を設定する。教員を企業等へ派遣する、また企業等から講師を招いての研修、企業人による授業見学並びに評価などを行う。

アパレル業界をとりまく環境を広く体感し、最新の知識や技術を習得する。さらに研修を通して一層指導力を高めることへつなげ、時代に即した教員研修をすることを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 26 年 8 月 31 日現在

名 前	所 属
兼子 昇	ワンスアラウンド株式会社 E・Rシニアディレクター
神山 一郎	株式会社ラ・シェネガ・カミヤマ 代表取締役
諏訪 宏	アルプスオーダーシャツ工房株式会社 代表取締役
鶴木 健	有限会社鶴コーポレーション ジュエリーサロン鶴 REPRESENTATIVE
竹内 忍	学校法人外語学園 信濃むつみ高等学校 教頭
内川 小百合	丸の内ビジネス専門学校 校長
宇都宮 郁子	在校生保護者
大月 俊幸	卒業生
大月 美歩	在校生

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://i-design.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://i-design.ac.jp/>

授業科目等の概要

(服飾・家政専門課程ファッション・ビジネス科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			外国語	基本文法の復習とファッションビジネス現場で使う書類並びに会話を習得する。	1 通	12			○	
○			ビジネス常識	社会一般のビジネス常識を習得する。	2①	32		△	○	
○			社会学	心理学、教育学を含み、人間としてファッションビジネスをとりまく環境として、広く社会について学ぶ。	1 通	10		○		
○			就職オリエンテーション	企業研修、就職活動から就職試験を経て就職までの流れをイメージし準備する。	1②	8			○	
○			ジムナスティック	衣服を「着る身体」として認識する。動く身体、着心地を感じずる身体を意識する。	1②	10				○
○			企業研修	100 時間以上のアパレル関連の企業内研修とそのレポート提出。	1 通	120				○
○			ベーシックデザイン	基礎デザイン。衣服のデザインの基礎となる、伝統や世界の美の基準に関する法則を学ぶ。	1 通	36			○	
○			服飾史	衣服及びファッションの歴史を中心に据えた文化史を学ぶ。	2②	12		○		
○			デザイン論	デザインとは何か。また、その社会的役割や、時代などによる変化などを学ぶ。	2②	12		○		
○			ファッションビジネス概論	ファッションビジネスとは何か。歴史的に、ビジネス的に、社会における位置付けを学ぶ。	1 通, 2①	48		○		

○		ファッションビジネス用語	ファッションビジネス界はカタカナばかり。毎年出版される辞書もおいつかない。そこで自分の辞書をつくる。	1通, 2①	72			○	
○		スタイリング	衣服を着る環境や置く環境空間と、衣服の各アイテムの組み合わせに至るまでの全体を時代や季節、コンセプト等に合わせ設定することを習得する。	1通, 2①	36			○	
○		PC 演習	デザイン画や、アパレル販売用チラシ、ポスター等をコンピューターを使ってつくる。	1通, 2①	36			○	
○		基本ソーイングテクニック	縫製技術の基礎を、部分的に、そのコツまでを学ぶ。①アパレル工場仕様②オートクチュール仕様。	1通	72				○
○		パターンメイキング	平面製図の基礎と応用。	1通	72				○
○		製作実習Ⅰ	実際に衣服を製作する。「商品」としての衣服製造を学ぶ。	1通, 2①	144			○	
○		製作実習Ⅱ	実際に衣服を製作する。「商品」としての衣服製造を学ぶ。	1②	72				○
○		製作実習Ⅲ	実際に衣服を製作する。「商品」としての衣服製造を学ぶ。	1③	72				○
○		企画演習	商品企画から商品の製作、販売までを実行する。	2通	144			○	
○		色彩検定 (3級)	文部科学省認定色彩能力検定。応用、実用を踏まえた色彩理論の基礎を学ぶ。	1②③	24			○	
○		F・B検定 (3級)	ファッションビジネス能力検定対策授業。ファッションビジネス業界で働こうとする新人必修の基本。	1①	48			○	
○		フォーマルウェア検定	フォーマルウェア検定対策授業。フォーマルウェアの基礎知識と着用ルールを学ぶ。	2②	12			△	○
○		販売実習	アパレル販売の実際を体験する。就職オリエンテーションの一環でもある。	2通	80				○

○		ディスプレイ実習	アパレルの販売促進に、小売の店頭で、商品を魅力的に、わかり易く見せる技術と演習。	2通	24			○	
	○	ファッション販売検定(2級)	ファッション販売の現場で、すぐに役立つ商品知識や売上計算、販売計画などを学ぶ。	2①	36	○			
	○	ショップ商品製作	ファッション商品の企画、製造、販売の一環で、とくに技術を習得する。	1通	24			○	
	○	色彩検定(2級)	色彩能力検定受験対策授業。応用、実用を踏まえた色彩理論を学ぶ。	2②③	40	○			
	○	商品装飾展示検定(2級)	技能士受験対策授業。販売現場での活用がおおいに望まれる。	2①	36		○		
	○	F・B検定(2級)	ファッションビジネス能力検定対策授業。ファッションビジネス業界で働こうとする新人必修の基本。	2①	40	○			
	○	企業研修	企業と学校が連携して、企業内研修をする。	2通	120			○	
	○	企画商品製作	企業スポンサーをつけ、企画から商品製作、発表、販売までの一連を演習する。	2通	80			○	
合計				31科目	2.216時間(単位)				